授業科目名	大学体育研究演習
科目番号	0BVA101 / 02JD105
単位数	2.0単位
標準履修年次	1年次
時間割	筑波:春AB・秋AB　鹿屋:前期・後期、集中
担当教員	木内敦詞, 金谷麻理子, 奈良隆章
授業概要	研究方法・論文執筆方法をテキスト『(春学期)研究の育て方:ゴールとプロセスの「見える化」』『(秋学期)基礎から学ぶ楽しい学会発表・論文執筆』に沿って体系的に学ぶ。研究のテーマをどう設定し,計画をどう設計し,論文をどう執筆するかについて,そのゴールとプロセスを概観することで,学術研究の作法を体系的に学ぶ。その中で,大学体育教員としての職業観の深化を狙う。討論への参加度およびレポートから総合的に評価する。
備考	筑波大学開講
授業形態	演習
学位プログラム・コンピテンスとの関係	「知の創成力」に関連する。
授業の到達目標(学修成果)	(1) 研究のゴールとプロセスを説明することができる。 (2) よい研究の条件を説明することができる。 (3) 研究倫理に関する近年の動向を説明することができる。 (4) 論文の各構成要素で述べるべき事項を説明することができる。
キーワード	研究構想・デザイン・計画, 研究倫理, 個人情報保護法
授業計画	＜春学期＞ 1. 研究のゴールと研究プロセス, よい研究の条件 2. 研究の種類の選択, 論文の種類 3. 研究テーマの育て方, 研究構想・デザイン・計画 4. 原著論文の構成, 背景と文献レビュー, 目的 5. 対象と方法, 採択される研究助成申請書の書き方, 研究倫理指針 6. データ収集, データ分析, 7. 期待した結果が得られないとき, 結果の記述 8. 考察・結論の考え方・書き方, 共著者・謝辞・文献リスト 9. 研究発表:学会発表, 論文発表 10. 研究を学べる場の条件, 現場指導と研究の両立, ライフワーク ＜秋学期＞ 11. 投稿雑誌の選択, 投稿規定 12. 論文の構成,「緒言」 13.「方法」「結果」 14.「考察」 15. 図表の作成 16. 論文のその他の部分 17. 論文投稿の前にすべきこと 18. 編集委員会とのやりとり 19. 論文刊行の後に行うこと 20. なぜ研究や発表が必要なのか
履修条件	1年次に履修することが望ましい。
成績評価方法	プレゼンテーション内容と質疑応答50%、レポート50%
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	下に示す指定した教科書を事前に読んだ上で, 授業に出席すること。
教材・参考文献・配布資料等	『研究の育て方:ゴールとプロセスの「見える化」』 近藤克典, 医学書院, 2018 『基礎から学ぶ楽しい学会発表・論文執筆』 中村好一, 医学書院, 2013 『科学の健全な発展のために―誠実な科学者の心得―』日本学術振興会「科学の件座塩那発展のために」編集委員会編, 丸善出版, 2015
オフィスアワー	重複を避けるため、事前に連絡を取ることが望ましい。kiuchi.atsushi.fw@u.tsukuba.ac.jp
その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等)	上欄の教科書と,「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」2014年改訂(2017年一部改正)(文部科学省, 厚生労働省),「筑波大学体育系研究倫理委員会研究倫理審査申請の手引き」を印刷し, 常に手元に置いておくこと。
他の授業科目との関連	「博士論文課題演習Ⅰ」と並行して受講することが望ましい。